

選択的夫婦別姓は差別解消に必要

2月定例市議会の閉会日、議会に出された「選択的夫婦別姓に反対する陳情」の採決が行われ、自民党3会派17名が賛成したもの、自民党から3名が退席、反対23名で不採択になりました。

東市議は採決に先立ち、



討論に立つ東市議(3/15)

本陳情に賛成しないことを求め討論を行いました。

選択的夫婦別姓とは、結婚する夫婦が同姓か別姓かを選べる制度です。男女間の差別解消に、選択的夫婦別姓が必要です。

日本は夫婦が同姓になることを法律で義務付けています。世界では日本だけです。姓を変える96%は女性で、通称では解決でき

ない改姓の不都合が女性に集中している現状です。国連差別撤廃委員会から3度の勧告をうけています。

陳情では家族の一体感への危惧が書かれていますが、2017年の内閣府世論調査の「一体感には問題がないと思う」は64.3%でした。

明治9年、太政官指令で夫婦はそれぞれ実家の氏を名乗るとされ、明治31年

市立学童保育の 保育の質の充実を

東市議は3月2日、個人質問に立ちました。学童保育(放課後児童クラブ)は、新年度から市立クラブが41に増えるとともに、運営

を行うふれあい公社が「保育計画」を立てて、保育の中身の充実を目指すことになりす。

東市議は週30時間という勤務時間の枠にはめず、支援員の保育計画づくりや検証の時間を保証することを求めましたが、検討中という答弁でした。

誕生日会に保護者会のお金でプレゼントを用意することなどについて今まで否定的でしたが、一定の基準で整理していくと答弁がありました。

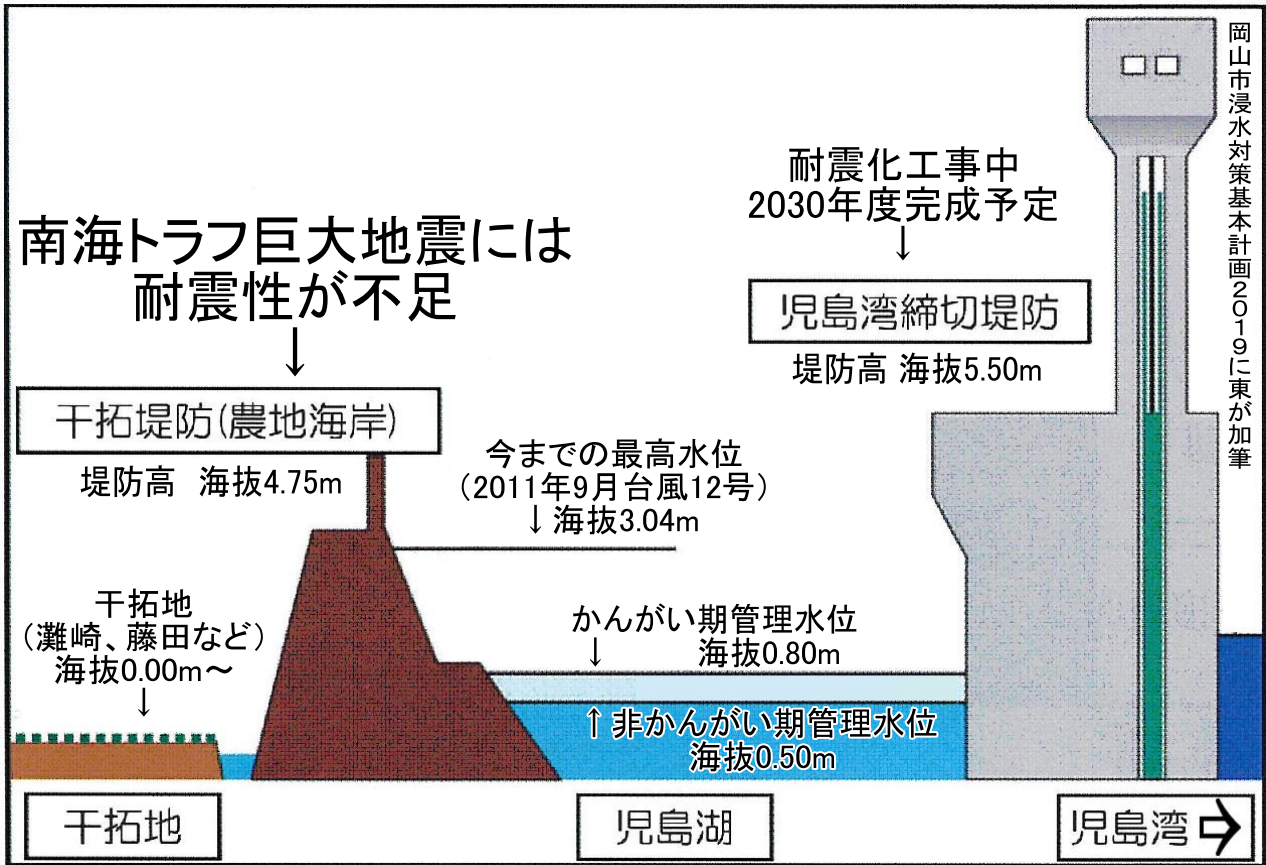
(他の質問は裏面参照)

ひまわり

まで続きました。夫婦同姓でないために家族の絆に困難が出たという記録は見つけられませんでした。岡山県議会にも同様の陳情が出され、自民党などの賛成で採択されました。今まで県内では選択的夫婦別姓の実現を求める意見書が倉敷市や総社市で採択されています。県議会自民党の時代錯誤の姿を示す出来事になりました。

3月31日は私の誕生日。45歳になりました。4月で市議会に初当選して10年になります。東日本大震災から10年、南区などが広く浸水した台風12号も9月で10年になります。防災問題など市民の声を市政に届けて前進したこともあれば、新たな課題もあります。くらしのちを守る活動に、いっそうがんばります。(東つよし)

南海トラフ巨大地震で干拓堤防が壊れ、直ちに浸水する危険性



児島湖沿岸の地震の想定見直しを

※海拔はAP(児島湾飽浦港最低海面)で表示
 なお、全国基準にTP(東京湾平均海面)というものがあります $TP=AP-1.333m$

東市議は児島湖の干拓堤防の耐震性について質問。「レベル1地震動」に耐えるという答弁でした。南海トラフ巨大地震の「レベル2地震動」では壊れる可能性があります。管理者の県は、「防災工事」をしましたが耐震性はそのままです。

現在、児島湾締切堤防で耐震化の工事中です。完成すれば南海トラフ巨大地震の津波の侵入は防げるとしても、干拓堤防が壊れれば、水位の高い児島湖の水が地震直後から灘崎や藤田など干拓地に浸水します。

東市議は被害想定の見直しや、直ちに逃げ込める避難場所の確保を求めました。市は「研究、検討して何ができるか考えてまいりたい」と答弁する一方、避難場所については52施設を確保したとして、新設することへの言及はありませんでした。

ただ、確保した津波避難ビルは、実際は使いづらいという声が出されており、数も足りません。

市立幼稚園3歳児拡大を

市立幼稚園で3歳児が入園できる園は、新年度から大元、芥子山が増え19園になります。全45園に実施する計画はありません。東市議は全園での3歳児教育を求めました。市は中学校区毎に1園整備する市立認定こども園で3歳児教育を行うのが必要ないと言います。しかしこの方針は、認定こども園以外の市立幼稚園・保育園の廃止民営化と一体であり、保護者の願いと別物です。

市立幼稚園の3歳児入園拡大や延長保育は、岡山市で依然深刻な「保育園落ちた」問題の解決にもつながるものです。

生活状況を踏まえた徴収を

東市議は、国保料などの料金や税金について、計画的に分納をしても差し押さえされた事例を挙げ、説明不足や、生活状況をよく把握しないままの差し押さえの改善を求めました。